

# 八学大スピードスケート部

八戸

八戸学院大(大谷真樹学長のスピードスケート部は22日、今季の成績を大谷学長に報告した。部員の古庄亜衣さん(21)―3年―、澤尻磨里英さん(19)―1年―、鬼頭琴音さん(19)―同―と、船場亜希監督が学長室を訪ね、今季を振り返り、来季への抱負を語った。

古庄さんは1月末から2月上旬にかけてカザフスタンで開かれたユニバーシア

## 学長に今季の成績報告 さらなる飛躍誓う



今季を振り返り、来季への抱負を語った八学大スピードスケート部のメンバーら

ード冬季大会に出場し女子3000円で8位、5000円で5位に入賞。澤尻さんは同時期に長野市で開かれたスケート国体の同1500円で5位、3000円で2位と健闘、鬼頭さんは4、5日に開かれたジャパンカップ第4戦で同5000円の2位に輝いた。

国際舞台で活躍した古庄さんは「シーズン初めから安定した成績を残すことができ、ユニバーシアードでも入賞できた」と充実感をにじませた。八学大に所属して初めて迎えたシーズンに澤尻さんは「高校生の時よりも質の高い練習を積み、40レースをこなせた」と語り、鬼頭さんは「体力、技術のなさを実感した」と悔やんだ。

来季は最終学年として臨む古庄さんは「養護教諭になるための勉強と、競技をしっかりと両立したい」と目標を掲げ、澤尻さんは「どの大会でも安定してタイムを残せるようになりたい」、鬼頭さんは「夏場の陸トレを頑張り、自己ベストを更新したい」とさらなる飛躍を誓った。

同部の3人と船場監督は同日、八戸市庁に小林真市長を訪ね、成績を報告した。(林泰輔)